

|  |                       |                     |                        |                          |                     |     |            |     |      |
|--|-----------------------|---------------------|------------------------|--------------------------|---------------------|-----|------------|-----|------|
| 科目名  | 外科学概論 2               |                     |                        |                          |                     |     |            | 年度  | 2026 |
| 英語科目名  | Overview of Surgery 2 |                     |                        |                          |                     |     |            | 学期  | 後期   |
| 学科・学年  | 柔道整復科 3年次             | 必/選                 | 必                      | 時間数                      | 30                  | 単位数 | 2          | 種別※ | 講義   |
| 担当教員   | 富田 泰彦                 | 教員の実務経験             |                        | 有                        | 実務経験の職種             |     | 医師（病院にて勤務） |     |      |
| <b>【科目の目的】</b><br>外傷を専門とする柔道整復師にとって必要不可欠な外科学における基本的知識の習得を目的とする。  |                       |                     |                        |                          |                     |     |            |     |      |
| <b>【科目の概要】</b><br>外科的治療の基礎と具体的方法を学びます。   |                       |                     |                        |                          |                     |     |            |     |      |
| <b>【到達目標】</b><br>外科学を学ぶことで、創傷治療、感染の知識、抗菌薬の使用法、各種栄養管理法を中心とした術前術後管理の知識、臨床病理学的知識とこれに基づいた切除検体の取り扱い、術後患者の長期経過における各種機能障害の予防法と治療法などの知識が深められる。また、心肺蘇生法を学ぶことで要救助者に対して、今や一般市民も行える一次救命処置（BLS）の気道確保・人工呼吸・胸骨圧迫について熟知することが到達目標である。 |                       |                     |                        |                          |                     |     |            |     |      |
| <b>【授業の注意点】</b><br>国民の健康に寄与する医療人の育成であることを重視する。全授業の出席を原則とする。正当な理由なき欠席・遅刻・早退は認めない。また、授業中の態度（私語・飲食・居眠り）には厳しく対応する。常に医療現場にて患者に適切な応対ができるマナーを身につけるような心掛けを求める。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。                         |                       |                     |                        |                          |                     |     |            |     |      |
| 評価基準＝ループリック  |                       |                     |                        |                          |                     |     |            |     |      |
| ループリック評価   | レベル5<br>優れている         | レベル4<br>よい          | レベル3<br>ふつう            | レベル2<br>あと少し             | レベル1<br>要努力         |     |            |     |      |
| 到達目標 A   | 心肺蘇生法について完全に理解している。   | 心肺蘇生法について大理解している。   | 心肺蘇生法について部分的に理解している。   | 心肺蘇生法についての理解がやや不足している。   | 心肺蘇生法について理解していない。   |     |            |     |      |
| 到達目標 B   | 麻酔について完全に理解している。      | 麻酔について大理解している。      | 麻酔について部分的に理解している。      | 麻酔についての理解がやや不足している。      | 麻酔について理解していない。      |     |            |     |      |
| 到達目標 C   | 消毒と滅菌について完全に理解している。   | 消毒と滅菌について大理解している。   | 消毒と滅菌について部分的に理解している。   | 消毒と滅菌についての理解がやや不足している。   | 消毒と滅菌について理解していない。   |     |            |     |      |
| 到達目標 D   | 脳神経外科疾患について完全に理解している。 | 脳神経外科疾患について大理解している。 | 脳神経外科疾患について部分的に理解している。 | 脳神経外科疾患についての理解がやや不足している。 | 脳神経外科疾患について理解していない。 |     |            |     |      |
| 到達目標 E   | 腹部外科疾患について完全に理解している。  | 腹部外科疾患について大理解している。  | 腹部外科疾患について部分的に理解している。  | 腹部外科疾患についての理解がやや不足している。  | 腹部外科疾患について理解していない。  |     |            |     |      |
| <b>【教科書】</b><br>教科書は「外科学概論」を持参する。その項目ごとに資料を配布する。   |                       |                     |                        |                          |                     |     |            |     |      |
| <b>【参考資料】</b>  |                       |                     |                        |                          |                     |     |            |     |      |
| <b>【成績の評価方法・評価基準】</b><br>試験と課題を総合的に評価する。   |                       |                     |                        |                          |                     |     |            |     |      |
| ※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。  |                       |                     |                        |                          |                     |     |            |     |      |

| 科目名  |            | 外科学概論 2                               |               |  | 年度   | 2026 |
|------|------------|---------------------------------------|---------------|--|------|------|
| 英語表記 |            | Overview of Surgery 2                 |               |  | 学期   | 後期   |
| 回数   | 授業テーマ      | 各授業の目的                                | 授業内容          | 到達目標＝修得するスキル                             | 評価方法 | 自己評価 |
| 1    | 心肺蘇生術      | 倒れたヒトの評価方法や心肺蘇生法の実際について理解する。          | 1 一次救命処置とは    | 気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫について理解する。                  | 3    |      |
|      |            |                                       | 2 二次救命処置とは    | 医師をはじめ医療従事者が行う蘇生処置について理解する。              |      |      |
|      |            |                                       | 3 倒れたヒトの評価方法  | 意識、呼吸、循環の順で評価することを理解する。                  |      |      |
| 2    | 麻酔①        | 麻酔の種類ならびに全身麻酔法の術中管理と心配される合併症について理解する。 | 1 麻酔の目的       | 安全に手術を受けるために患について理解する。者の苦痛を除去する鎮痛や鎮静     | 3    |      |
|      |            |                                       | 2 麻酔の種類       | 全身麻酔法と局所麻酔法について理解する。                     |      |      |
|      |            |                                       | 3 全身麻酔の合併症    | 呼吸器系、循環器系と体温の変化について理解する。                 |      |      |
| 3    | 麻酔②        | 局所麻酔法の種類と緩和ケアについて理解する。                | 1 表面麻酔        | 貼付、塗布、滴下、噴霧・含嗽などの方法について理解する。             | 3    |      |
|      |            |                                       | 2 浸潤麻酔        | 組織内に直接、局所麻酔薬を注射・浸潤させる方法について理解する。         |      |      |
|      |            |                                       | 3 伝達麻酔        | 脊髄くも膜下麻酔と硬膜外麻酔について理解する。                  |      |      |
| 4    | 代謝栄養       | 高カロリー輸液の適応と維持・管理ならびに合併症について理解する。      | 1 高カロリー輸液     | 生体が必要とする栄養成分を持続的に投与する栄養法について理解する。        | 3    |      |
|      |            |                                       | 2 高カロリー輸液法の適応 | 経口摂取が不能・不十分・好ましくない場合について理解する。            |      |      |
|      |            |                                       | 3 合併症         | 手技上・感染・代謝性の合併症の各注意事項について理解する。            |      |      |
| 5    | 消毒滅菌       | 主な消毒薬の特徴と適応ならびに滅菌方法について理解する。          | 1 主な消毒薬の特徴    | アルコール、クロルヘキシジン、ポビドンヨードなどについて理解する。        | 3    |      |
|      |            |                                       | 2 主な消毒薬の適応    | 条件としての皮膚強刺激、金属腐食性、滅菌の可能性について理解する。        |      |      |
|      |            |                                       | 3 滅菌方法        | 高圧蒸気滅菌、酸化エチレンガス滅菌、放射線滅菌などについて理解する。       |      |      |
| 6    | 脳神経疾患①     | 意識障害・頭痛・てんかんなどを理解する。                  | 1 意識障害        | 意識混濁と意識変容の分類について理解する。                    | 3    |      |
|      |            |                                       | 2 運動障害        | 運動麻痺、運動失調、不随意運動について理解する。                 |      |      |
|      |            |                                       | 3 感覚障害        | 表在感覚と深部感覚について理解する。                       |      |      |
| 7    | 脳神経疾患②     | 中枢性疾患特有な病態や画像観察について理解する。              | 1 頭蓋内圧亢進      | 脳実質、髄液、血液の容積が増加することで頭蓋内圧が亢進することを理解する。    | 3    |      |
|      |            |                                       | 2 遷延性意識障害     | 失外症候群、無動性無言症、閉じ込め症候群について理解する。            |      |      |
|      |            |                                       | 3 画像検査        | CT、MRI、脳血管造影、核医学検査、超音波検査などについて理解する。      |      |      |
| 8    | 振り返り       | 後期1回～7回の講義の振り返り。                      | 1 心肺蘇生術       | 一次救命処置と二次救命処置について理解する。                   | 3    |      |
|      |            |                                       | 2 麻酔の目的種類     | 安全に手術を受けるために患者の苦痛を除去する鎮痛や鎮静について理解する。     |      |      |
|      |            |                                       | 3 主な消毒薬の特徴    | アルコール、クロルヘキシジン、ポビドンヨードなどについて理解する。        |      |      |
| 9    | 脳神経疾患③     | 頭部外傷・脳血管障害・脳腫瘍について理解する。               | 1 頭部外傷の種類     | 頭蓋軟部損傷、頭蓋骨骨折、頭蓋内出血、脳震盪などについて理解する。        | 3    |      |
|      |            |                                       | 2 脳血管障害の種類    | 脳梗塞、脳出血、くも膜下出血などについて理解する。                |      |      |
|      |            |                                       | 3 脳腫瘍の症状      | 麻痺などの巣症状と頭痛、意識障害などの頭蓋内圧亢進症状              |      |      |
| 10   | 消化器疾患①     | 主な検査方法について理解する。                       | 1 超音波検査       | 超音波の反射波を利用した組織の音響特性の相違を画像に表したものについて理解する。 | 3    |      |
|      |            |                                       | 2 X線検査        | 単純X線検査と造影剤を使用した検査の分類について理解する。            |      |      |
|      |            |                                       | 3 内視鏡検査       | 胃ファイバーなどの消化器内視鏡の種類が多いことについて理解する。         |      |      |
| 11   | 消化器疾患②     | 食道部・胃十二指腸潰瘍部疾患について理解する。               | 1 食道癌         | 発生部位による頭部食道癌、胸部食道癌、下部食道噴門部癌の大別について理解する。  | 3    |      |
|      |            |                                       | 2 胃十二指腸潰瘍     | 重要な合併症である穿孔、出血、幽門狭窄について理解する。             |      |      |
|      |            |                                       | 3 胃癌          | 好発部位の胃角部や前庭部小彎について理解する。                  |      |      |
| 12   | 消化器疾患③     | 大腸部や肝臓・胆嚢・膵臓疾患について理解する。               | 1 大腸癌         | 大腸にできる上皮性悪性腫瘍について理解する。                   | 3    |      |
|      |            |                                       | 2 肝臓癌         | 原発性肝癌と転移性肝癌の分類について理解する。                  |      |      |
|      |            |                                       | 3 胆石症         | 胆道系で生成される結石の総称について理解する。                  |      |      |
| 13   | 消化器疾患④     | その他の腹部外科疾患について理解する。                   | 1 急性虫垂炎       | 虫垂の化膿性炎症性疾患について理解する。                     | 3    |      |
|      |            |                                       | 2 ヘルニア        | 体壁や体腔内の裂隙を通して臓器や組織が脱出するものについて理解する。       |      |      |
|      |            |                                       | 3 腹部外傷        | 発症機転から鈍的外傷と鋭的外傷に分類されることについて理解する。         |      |      |
| 14   | 振り返り       | 後期9回～13回の講義の振り返り。                     | 1 脳血管疾患       | 頭部外傷の種類について理解する。                         | 3    |      |
|      |            |                                       | 2 消化器疾患の検査    | 超音波、X線、内視鏡各検査について理解する。                   |      |      |
|      |            |                                       | 3 消化器の各疾患     | 食道癌、胃癌、大腸癌、肝臓癌について理解する。                  |      |      |
| 15   | 外科学概論2のまとめ | 後期外科学概論2全体の振り返り。                      | 1 麻酔について      | 目的と種類について理解する。                           | 3    |      |
|      |            |                                       | 2 消毒について      | 滅菌の方法について理解する。                           |      |      |
|      |            |                                       | 3 脳血管疾患の障害    | 意識、運動、感覚各障害について理解する。                     |      |      |

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等